公益社団法人 愛知県看護協会

https://www.aichi-kangokyokai.or.jp

愛知県看護協会だより

AICHI NURSING ASSOCIATION

vol.154
2024 1.20

今年もやります！

読者プレゼント企画

新春お年玉企画
ドドーンと総額10万円！

01 新年のご挨拶
02 新会館建設シリーズ
03 表彰受章者の紹介
要望書を提出しました
看護協会マンスリーニュース
04 重点事業 実施報告
07 会員の声インタビュー
08 いただき企画
09 目からうろこラボ（labo）
10 医療安全管理者交流会開催
11 2024年度入会・継続手続き
12 読者プレゼント企画・会員特典
13 教育センターからのお知らせ
14 訪問看護総合支援センター
15 選挙公報
理事会報告

健康であること、
幸福であること、
そのための看護。

別小江神社の花手水（名古屋市北区）

新年のご挨拶

愛知県看護協会 会長 三浦 昌子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
会員の皆様には、看護協会の事業に多大なるご支援、ご協力を賜りますことを心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、令和５年５月に５類になり、マスクを外した日常生活が戻り始めました。また一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰などで国民にとっては厳しさが増しています。

令和６年１月１日には、石川県能登地方を震源とする最大震度７の地震が発生し多くの家屋が倒壊し、多くの死亡者と安否不明者が出ています。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますと共に被災された方々にお見舞い申し上げます。

地震発生後速やかに全国からDMATや日本看護協会の他県災害支援ナースが派遣され、病院や避難所に入り支援活動を行いました。愛知県看護協会も１月10日より災害支援ナースの派遣を開始しました。いまだ多くの地域で停電、断水が続き衛生面やトイレが使えないなど被災地は厳しい状況が続いています。１日も早い復興を祈っております。

さて令和６年度は９つの重点事業を進めていきます。昨年より３つ事業が増えました。それは３と８と９です。３はクリニカルラダーが更新されたことを踏まえ、本会の教育のあり方を見直します。８は2040年に向けてのグランドデザインを描き準備を進めていきます。９は新会館に向けての整備を行いスムーズに会館の運営が行えるようにします。

１．健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の推進
２．地域の危機管理体制の構築
３．看護職の生涯学習支援
４．認定看護管理者のプレゼンス（存在感）の向上
５．看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアの推進
６．看護経営におけるデータの活用
７．職能団体としての組織基盤の強化
８．2040年に向けての本会の将来ビジョンの策定
９．新会館整備事業の実施

会員の皆様の声を聞き、事業の運営に努めていきたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願いたします。

No.7 新会館建設シリーズ

令和7年2月竣工予定

令和5年1月 安全祈願祭
令和5年8月 地鎮祭
令和6年1月 建設工事（現在）
令和6年8月 建物完成
令和7年 竣工

解体工事

建設工事の様子

昨年1月の安全祈願祭、8月の地鎮祭を経て、工事着工しています。
11月には地下解体と山留工事（土が崩れないように地下に壁を作る工事）を行っており、12月初旬に終わりました。令和6年1月中旬までに建物を建てるための杭を打つ予定です。

完成イメージ図

▶全景

▶事務フロア ロビー イメージ図

～新会館コンセプト～

e-AICHI（いいあいち）とは

出会い（encounter）や学び（education）を通し、全ての看護職（All nurses）が感動（Impression）を分かち合い、Challenge精神を持って、自らの人間性（Humanity）を高め、県民の健康と幸福に繋がる看護の心を発信（Information）する場所である。

明るく圧迫感のない空間としています。

▶キッズスペース イメージ図

表彰受章者の紹介

皆さま、誠におめでとうございます。

令和5年度　秋の叙勲

瑞宝双光章　伊藤　　貴子（障害者支援施設「愛厚すぎのきの里」　主任）

瑞宝単光章　野呂　美智代（元あいち小児保健医療総合センター
看護部副部長兼看護部主任看護師長）

要望書を提出しました

【要望事項:愛知県】

❶新会館設備整備への支援について
❷ナースセンターの機能強化のための支援について
❸特定行為研修への受講支援について
❹看護小規模多機能型居宅介護事業所の設置推進について

【要望事項:名古屋市】

❶新会館設備整備への支援について
❷特定行為研修への受講支援について

協会のこの4カ月

Aichi Nursing Association

MONTHLY NEWS!

看護協会マンスリーニュース

9月	11(月)	愛知県知事要望書
	20(水)	名古屋市長要望書
	21(木)	日本看護協会　政策責任者会議
	22(金)	日本看護協会　理事会・法人会員会
	29(金)-30(土)	日本看護学会学術集会(大阪府)
10月	5(木)	地区別情報交換会（オンライン）
	10(火)	第4回常務理事会
	12(木)-13(金)	日看東海北陸地区別法人会（三重県）
	23(月)	第4回理事会・第14回新会館建設会議
	24(火)	特定行為研修 R4 秋期　修了式
	31(火)	中間監査
11月	1(水)	特定行為研修　秋期開講式、セカンドレベル　開講式
	8(水)-9(木)	日本看護学会学術集会(神奈川県)
	14(火)	地域災害応援ナース実働訓練
	21(火)-22(水)	日本看護協会　理事会・法人会員会
12月	12(火)	愛知県看護学会(ウインクあいち)
	13(水)	第5回常務理事会(オンライン)
	18(月)	第5回理事会・第15回新会館建設会議・第3回地区支部長会議
	22(金)	セカンドレベル　閉講式

重点　県民が望むACPの強化・県民の健康と療養を支える取り組みの推進

「多職種によるまちの保健室事業」「ACP 推進事業」を開催して

名古屋南・北地区支部 合同
協賛:ナゴヤガーデンクリニック他4社

開 催 日　9月23日(土)・24日(日)
開催場所　イオンモールナゴヤノリタケガーデン・イオンホール
テ ー マ　「医療従事者による健康応援フェスタ　COLORFUL彩」人生100年時代、心身ともに健康で、そして彩りをという思いを込めて
運　　営　地区支部内9施設、80名を超える多職種スタッフ
実施内容　ACPについての講演、食育レシピ、マタニティヨガ、SDGs健康宣言!など17項目
参 加 者　2,697名(2日間延べ)

おかげさまでご盛況いただき、参加者もスタッフも笑顔が絶えない時間となりました。

かんごちゃんとの触れ合いを楽しんだり、ご家族でACPについて話をしたりタッピングタッチを体験したり、また、健康チェックでホッとしたり、眉や爪などのケアを受けることで大人も子供も眼がキラキラしたりと、参加者それぞれに体験したものは異なりますが、健康や家族、癒やしや笑いに触れる機会になったのではないかと感じております。さらに、スタッフにとっても、他施設や他職種の活動を知り、学びや連携を深める貴重な機会となりました。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

そして、今後も県民の皆様の人生に“彩り”を添えるお手伝いができますよう、活動を継続していければと願っております。

「かんごちゃん」と看護師で、イベント告知をしながらイオンをねり歩きました。
子どもたちから握手やハグを求められて大人気のかんごちゃん。
かんごちゃんの可愛さに魅了された県民の皆様が、楽しく健康を考えるイベントブースに訪れてくださいました。

名古屋南地区支部長　都築智美／名古屋北地区支部長　山本あゆみ

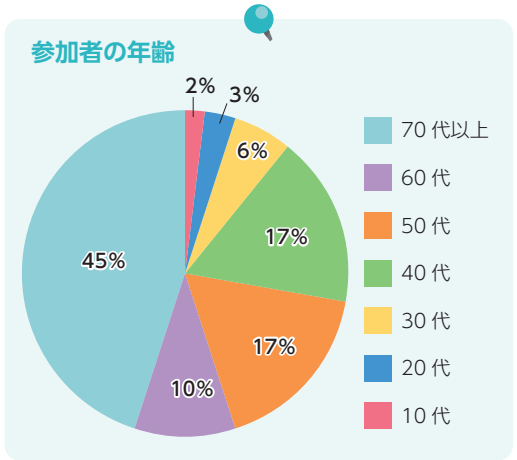
多職種によるまちの保健室を開催して

尾張北部地区支部

開 催 日　10月21日(土)・22日(日)
開催場所　小牧市民会館・公会堂内のピロティ
運営職種　管理栄養士、保健師、助産師、看護師
(管理栄養士2名、地区支部役員等6名の8人態勢)
実施内容　血管年齢、骨密度、脳年齢測定、栄養相談(約40名/2日間)
参 加 者　約280名

小牧市民祭りの小牧市民病院による「まちの保健室」に地区支部活動として参加させていただきました。住民の方に気軽に参加いただけるよう管理栄養士(地区支部役員所属病院から人選)による「栄養相談」を考えました。

相談は、一人20分程度、中には30分以上熱心に相談されていた方もみえ、待ち時間が発生するくらい盛況でした。



●アンケート結果より(回答数199名)

10代から70代まで参加者の年齢層は幅広く、60代以上が6割でした。内容について「丁寧に対応してくれた」「説明はわかりやすかった」「また参加したい」「家族や友人に紹介したい」と、9割の方が回答。また約8割の方は「悩みの解決に役立った」と回答されました。

「自分の健康についてあらためて見直す機会となった」「気軽に検査できた」「楽しかった」「今後も続けてください」などの記述をいただき、とても良い反響を得られました。

●管理栄養士の話

機会があれば来年もやりたい。幅広い相談に応えられる工夫をしていきたい。今まで地域内での職種間の協働がなく、貴重な経験となりました。

おわりに

イベントに足を運んでご自身の健康に向き合っている姿など参加者のリアクションが私たちの励みになり、相乗効果をもたらす良い影響があるという手ごたえを感じました。

自由に気軽に健康測定・相談ができることは住民の健康維持に貢献でき、また地域内での多職種協働は、お互いの関係性強化や相互が学び合う機会など意義があると考えます。今後ブラッシュアップした開催ができると良いと思います。

尾張北部地区支部長　瀬古鈴子

重点　災害対応時の本会の体制整備と地域との連携

地域災害応援ナース実動訓練について

三年目となる今年度の実動訓練は、西三河南部東地区支部の藤田医科大学岡崎医療センターが被災施設となりました。この訓練は2部構成となっており、第1部では地域災害応援ナースの要請・調整・派遣の流れを行いました。被害規模は、「集中豪雨により幸田町の広田川が決壊し、幸田町一帯に大きな被害が発生。これにより被災した自宅の片付けや学校などが休校となったことで、出勤できない看護職員が多数発生」したため、看護応援業務のために8名の地域災害応援ナースの派遣を3日間依頼するところから始まりました。Zoomを使用したオンライン上で、被災施設、訓練参加施設7施設、岡崎市保健所、愛知県医務課、愛知県看護協会を繋ぎ、地域災害応援ナースの派遣要請に応じて、「看護協会の災害対策本部が調整する様子を中継する」方法で実施しました。被災施設による災害状況の報告から看護協会による人員調整、訓練参加施設への派遣調整結果の連絡までの動きと各様式の使用をメールで行いました。

受援病院の実動訓練を振り返って

西三河南部東地区支部長　小島菜保子（藤田医科大学　岡崎医療センター）

訓練第2部の受援体制の実動訓練では、西三河南部西地区支部の刈谷豊田総合病院から、地域災害応援ナース8名の受け入れを行い、派遣・受援の動きを実施しました。

訓練にあたり、受援施設の体制として、地域災害応援ナースの役割、登録条件、活動を確認した上で、まず最初に被害規模および出勤困難な看護師の想定を検討しました。次に当院の受援体制の確立について、派遣元の応援ナースの心配事（漠然とした不安）と当院の準備体制をすり合わせ、「初めて支援に来る応援ナースが活動しやすい環境」を目標に検討しました。

応援ナースの受け入れ病棟は、比較的患者の状態が安定した外科病棟、内科病棟の2病棟とし、2病棟以外は院内の応援体制により欠員の補充をすることにしました。そうすることで、看護管理者も受け入れる覚悟ができ、応援ナース、病棟スタッフが安心できると考えました。また病院の他部門の協力を得ながら、駐車場の確保、集合場所、出入り口、更衣、オリエンテーションを行う会議室、セキュリティカード借用について検討しました。

休憩・食事スペースはコミュニケーションが図れるよう病棟スタッフと同じ場所にする等、病棟で活動する応援ナースを想定してオリエンテーションの内容を決定し、繰り返しシミュレーションしながらシナリオを作成しました。

訓練当日は、応援ナース、受け入れ病棟管理者、ペアスタッフが大変緊張しながらも派遣・受援の実際を学ぶことができました。

実動訓練を終えた参加者の振り返りでは、応援ナースのプロフィール作成と看護スキルの可視化、病棟見取り図・物品配置図の作成と配布があるとさらに良いこと、災害看護委員より今後登録者が増えた時には、応援ナースの分野の登録や段階的研修を検討したいと意見交換が行われました。

今回の実動訓練を通して、より具体的に理解できました。今後は、訓練の課題を活かし、体制整備に努めながら定着できるよう、さらなるブラッシュアップを行っていきたいと思います。

地域災害応援ナース派遣のための実動訓練「看護師派遣」施設の体制

西三河南部西地区支部長　石川眞理子（医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院）

当院が登録している応援ナースは28名。看護師長経由で、訓練参加の有無を募り14名が志望。志望動機は、「いざ派遣となった時にどうするのかわからない。よい機会と考えるので参加したい。」が大半でした。

派遣する応援ナース（以下、派遣者）の選定と勤務調整、派遣者への説明と心情の聞き取り、岡崎医療センターとの事前調整会議（オンライン）を実施しました。

派遣者へは、被災医療機関の状況、応援ナースとしての心構え、持参物品等について説明。「自分が応援に行って動いているイメージができないため不安感だけが大きくなってしまう。」「ユニフォームは着用していくのか、着替えられるのか。」「聴診器など、支援活動に必要な物品をどの程度持参するのか。」等の質問がありました。派遣者が表出した不安要因の解決に向けて岡崎医療センターと情報交換したことで、緊張はあるものの安心して訓練に参加できたと思います。

訓練当日、病棟では、岡崎医療センターの看護師とペアになり、可能な限りベッドサイドに赴き看護ケアを実践しました。他院の看護師と看護ケアを行うことの緊張感や不安感は、今後、当院で受援体制を整備していくうえで大きな財産となると思います。実際に受け入れ側に立った時に、応援ナースへの配慮、思いやりといった精神面での気配りを大切にした体制をつくっていきたいと思います。

全体説明

病棟の様子

＜経過＞

10月中旬　実動訓練派遣者決定
10月30日　派遣者への説明と心情の聞き取り（不安要因の顕在化）
11月　2日　医療センターと事前打合せ（オンラインにて）
11月14日（火）9:30～13:00　訓練当日
9:30　集合　受付（病院名・氏名確認）
9:35　会議室に移動し更衣
10:00　オリエンテーション（愛知県看護協会のZoom参加）
●医療センターの概要と応援ナースの受け入れ態勢および活動範囲について
11:15　受援体制の実際
●2部署に分かれて部署オリエンテーションに参加（病棟の構造、看護方式の説明、ペア看護師の紹介）
●ペア看護師とともに患者のケアに参加
11:50　まとめ（愛知県看護協会のZoom参加）
12:20　意見交換（医療センターと当院合同の振り返り）
13:00　解散

重点 多職種とのタスク・シフト/シェアの推進

「看護職と多職種とのタスク・シフト/シェア」にチャレンジ!!

看護師職能I委員会

愛知県看護協会では、令和４年度より看護師職能Ⅰ委員会が中心となり看護補助者・多職種とのタスク・シフト／シェアの推進を進めています。

令和5年は対象を多職種に絞り、7月に多職種とのタスク・シフトにチャレンジしている施設の取り組みを公募し、6施設の応募をいただきました。各施設とも看護職以外の専門職と協働することで、患者さんへのサービスの向上を目指した取組みでした。その中から「斬新な取り組み・看護師の負担軽減」の視点で審査し、3つの施設を選考させていただきました。

11月18日の研修会では、日本看護協会の井本常任理事より、多職種とのタスク・シフト／シェアの進め方や配慮する点等についてご講演をいただきました。その後、各施設から実践報告をしていただき、愛知県看護協会より表彰状と記念品を贈呈しました。

また、日本看護協会看護業務効率化先進事例アワード2023優秀賞を受賞された施設からも報告をいただきました。

活動内容は看護協会のホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

【実践報告】

- **「食事介助のタスクシェアの取り組みについて」**
  医療法人並木会並木病院　小野寅雄さん
- **「夕食介助の多職種とのタスクシェア」**
  笠寺病院　木下千晴さん
- **「入浴介助のタスクシェア～療法士との協働～」**
  三九朗東リハビリテーション病院　勝田亜由美さん
- **「薬剤関連の看護業務カイゼン―薬剤師と看護師が協働して取り組んだタスクシェア ―」**
  トヨタ記念病院　黒田直美さん

■重点事業ホームページURL■

「災害対応時の本会の体制整備と地域との連携」
https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/437/

「多職種とのタスク・シフト/シェアの推進」
https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/603/

日本福祉大学大学院 看護学研究科修士課程

看護の主要7領域を備え、現職看護職の方のスキルアップ、将来的に教育職をめざす方にも最適なカリキュラム編成です。
個々に応じた学習プログラムを組み立てることが可能です（長期履修制度の活用、オンライン授業等。）社会人院生も多く在学しています。

入学相談随時開催　オンライン（Zoom）参加も可!

●第3期入試事前相談受付中　●個別相談も随時対応可能です

会 場　日本福祉大学東海キャンパス（名鉄太田川駅より徒歩5分）

内 容　●全体説明会（研究科紹介&入試説明）　●個人相談会
申し込み方法：下記URLより
https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/admissions/consultation.html

2024年度看護学研究科入学案内

※2024年度入試より試験科目が変更となり、「小論文」と「面接」で総合的に判定することになりました。

第3期入試
事前相談（必須）　2024年1月5日(金)～2024年2月2日(金)
出願期間　2024年2月5日(月)～2月23日(金・祝)　入 試 日　2024年3月2日(土)

お問い合わせ先
日本福祉大学東海事務室看護学研究科
〒477-0031
東海市大田町川南新田229番地（東海キャンパス）
TEL:0562-39-3811（代表）
E-mail:kango-g@ml.n-fukushi.ac.jp

会員の声インタビュー

私のライフステージメッセージ

みなさまも記事を投稿しませんか？

会員投稿

私の看護を支える体験談

医療法人佳信会　クリニックつしま　看護師　浪花　里奈

1 がん患者さんとのエピソード

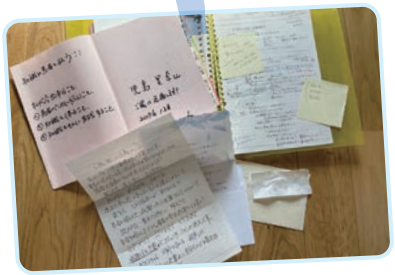
外科病棟に勤務していた時、がんの進行と繰り返される化学療法で体力と食欲が低下し、最期は自宅での緩和ケアへ移行したTさんに出会いました。Tさんは亡くなる数日前、奥さんと共に病棟を訪問されました。「沢山の笑顔をありがとう。頑張ることができました。最後になると思うけど泣かないで、元気に送り出して欲しい。僕の最後のわがままです」と話されました。その時のTさんの握った手の力強さ、死期が迫っていると想像出来ないほど穏やかで優しい表情が今でも忘れられません。

2 看護を支える体験談

私が看護師になる決意をしたのは父親を亡くしたことがきっかけです。18歳の私は自宅で倒れている父を発見しましたが、体が動かず救急車を呼ぶことさえ出来ませんでした。ただ涙を流すだけで、何も出来なかった自分に腹が立ちました。しかし、父は自らの身をもって命の大切さを教えてくれました。私はこの時、同じ苦しみを繰り返さないと強く誓いました。看護師となり沢山の喜びや苦しみを経験しますが、いつも父が傍にいて導いてくれている気がします。

3 看護師を続けるための思い

私の原動力は父親の死とこれまで出会った患者さんです。闘病で苦しむ患者さんもいれば最後まで「その人らしい人生」を歩み続ける患者さんもいます。私は患者さんが少しでもホッと安心が出来、「生きていてよかった」と思えるような時間を過ごすことが出来るように心がけています。患者さんと向き合い、患者さんと家族の立場になって考えます。向かい合う患者さんの「生」と「死」とは何か、その人に必要なものは何かを考え、日々看護に励んでいます。



「患者さんからいただいた手紙と私のモットー」

特定行為研修修了後の実践を通して

愛知県がんセンター　クリティカルケア認定看護師　深堀　慎一郎

1 活動状況

2021年に看護師特定行為研修（14区分26行為）を修了しました。人工呼吸器からの離脱、動脈ラインの確保、末梢留置型中心静脈注射用カテーテル（PICC）の挿入などを行っています。集中治療室を中心に、一般病棟、外来などで活動し、院内急変対応チーム（RRT：Rapid Response Team）の役割も担っています。

2 大事にしていること

医師ではなく、看護師だからできる実践（特定行為）にこだわっています。看護師として患者さんを「よくしたい」「苦痛をとりたい」「尊重したい」、特定行為はその手段の一つです。症例に合わせて、看護師が特定行為をやる意義を常に追及しながら実践しています。

3 現在の仕事でのやりがいやうれしかったこと

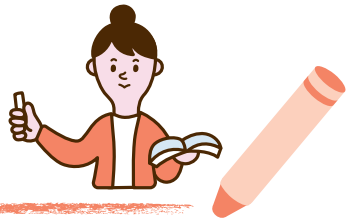
特定行為は、医師のタスク・シフト/シェアに注目されがちですが、それだけではありません。患者さんのために、一歩踏み出し行動する。責任を持った実践が、医師や多職種からの信頼につながっていることを実感しています。今では、RRTの対応で私が困っている時は、逆に医師や多職種の方が助けてくれています。単なる業務委譲や役割分担ではなく、責任も一緒にシェアして、真のチーム医療の推進に貢献できていると感じているところです。

4 今後の展望

現在、医師と協働して、特定行為を応用した臨床研究に取り組んでいます。看護の力でできる新たな患者さんへの貢献と、変化する看護の価値を追求して行きたいです。

皆さんの声ありがとう！

いただき企画 Vol.3



読者プレゼント企画にお寄せいただいたメッセージ　看護協会の職員の1日と題してどういう仕事をしているのか密着して欲しい。

愛知県看護協会　三浦昌子会長へインタビュー

インタビューの予定をしていた日は、会長が多忙を極め延期になり、1か月後に実現しました。会員の皆様を代表して私たち広報委員は緊張しつつ会長室へ…三浦会長のデスクは書類の山。仕事の忙しさが伝わってきました。
「なんでも聞いてね」と、とてもきさくに迎え入れてくださって、インタビューをさせていただきました。

趣味、息抜きはなんですか？

温泉や食べ歩き、お酒も好きです。料理を作ってもてなすことが好きで、看護協会の忘年会では、実家の信州から大根を調達して、おでんを約100人前作りました。

看護師になったきっかけは？

陸上の成績がよく、体育の先生になろうと思っていましたが、父に手に職をつけるようにと言われ、「看護師」になろうと決めました。お世話が嫌いではなかったし、困っている人に何かしたいという気持ちが強かったです。

思い出に残る看護の場面は？

ICUから内科に異動した時、後腹膜リンパ腫の患者さんが入院していました。
長い入院生活を送る患者さんを看て、「なんとか呼吸器を外してあげたい」と思うようになりました。「無理だろう」という医師の言葉に反し「看護の力でなんとかしたい。自分の強みを生かせないか」との思いで、呼吸器から離脱できるまでの計画を立てました。スタッフに呼吸器管理等をレクチャーし、本人のメンタルケアをしながら自発呼吸をうまくサポートできるようコントロールし、約3か月後に初めて車椅子で廊下まで出ることができました。拍手喝采の中ご本人はもちろん、その瞬間は本当に嬉しく、スタッフのモチベーションもあがったことを覚えています。そういう体験を共有しあえるのは看護の面白さであり醍醐味です。その後、その患者さんは自宅にも戻ることができました。
大事にしていたことは、患者さんのQOLを落とさないことです。質を落とさない看護が周りからも評価され、自分たちの自慢になっていきました。

会員のための看護協会とは？

会員に何らかの還元をしたいと思っています。会員サービスを始めたこともその一環です。新会館では、子育て中の看護職も参加しやすいように、キッズコーナー（託児有）や授乳室を設けます。また就労中の看護職には施設配信研修を開始し、希望施設向けに貸し出しを行っていきます。さらに、シミュレーションセンターを常設し、採血、栄養、点滴等のシミュレーションをコースで受講できるようにし、新入会員は、研修1回を無料で受講できるように考えています。
新会館のコンセプト“e-AICHI（いいあいち）”の基本的な精神を元に、看護協会を“学びの場・出会いの場”として会員一人ひとりに行き届くものにしたいと考えています。

e-AICHI（いいあいち）とは
出会い（**e**ncounter）や学び（**e**ducation）を通し、全ての看護職（**A**ll nurses）が感動（**I**mpression）を分かち合い、**C**hallenge精神を持って、自らの人間性（**H**umanity）を高め、県民の健康と幸福に繋がる看護の心を発信（**I**nformation）する場所である。

看護師不足についての対策はありますか？

今後は人口減少で人は増えないため、業務整理と業務改善が必須と考えます。
コロナ禍の求人募集において、痒いところに手が届かないという苦い経験をしました。ナースセンターに募集をかけてもすぐに採用することができず、困っている医療機関へ手を差し伸べられませんでした。そこで、協会が看護師を派遣する仕組みができると良いと考えました。「プラチナナース登録制度」をご存知でしょうか。セカンドキャリアを考え始める55歳以上の現役の方が主に登録しているこの制度を活用できないかと考えました。登録すると色々な情報が届くという面で登録者にもメリットがあります。たとえば、中小規模病院での教育や医療安全の支援に活用するべくパイロット事業を始め、プラチナナースの力に気付いて教育師長に採用した病院もあります。
また副業が可能な体制が構築できたら良いとも考えています。たとえば小規模病院で夜間看護、週1回当直ができる看護職が必要となった時、協会員の中でICU経験のあるナースをセレクトして紹介し、雇用計画を進めてもらう仕組みです。保証の問題など課題はあります。

協会長として今後の展望をお聞かせください

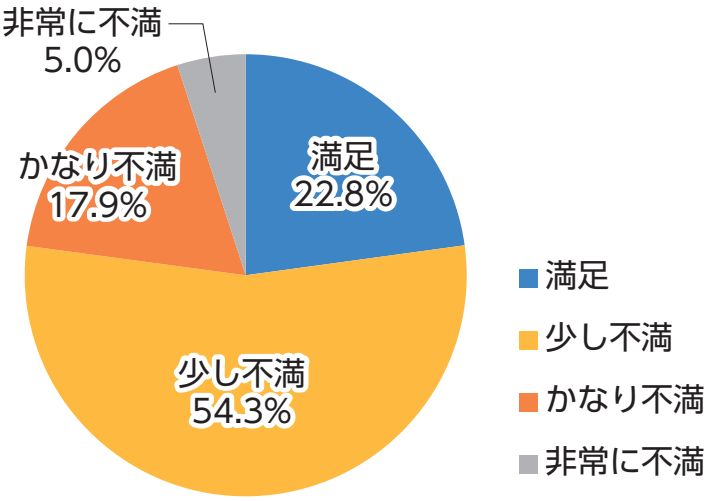
今後、地域の役割がもっと大きくなります。在宅看護を担う訪問看護は協同組合のようなカンパニーを作り、災害時や感染症蔓延時に助け合えたらどうかと考えます。子育てで退職した人は夜勤がネックで復職を躊躇している現状があります。共同でプラチナナースを雇って夜勤を補い、日勤の保証があれば子育て世代も働きやすくなり、ひいては地域の人材確保にもつながっていくと思います。
これからの看護界には、自分で考え、発信し、行動してチームを動かす人材が必要です。リーダーシップ開発の教育ツールを作り、ラダーの中に組み込めないかと考えています。

目から うろこラボ (labo)

睡眠と体内時計

睡眠不足では、日中に眠気が起こりやすくなるだけではなく、眠気が起こっていなくともパフォーマンスは低下している恐れがあることがさまざまな研究によって明らかになっています。しかし、看護師のみなさんにおかれましては満足に睡眠を取れている人は少なく、東洋羽毛工業がおこなっている睡眠の調査では、実に77.2%もの人が何らかの不満を持っていることが分かりました（調査人数：9,526名、調査期間：2023年4月1日～11月13日現在）。そこで、看護師のみなさんの睡眠にとって、特に重要な点の1つである「体内時計」について説明いたします。

●睡眠の満足度（看護師）



良い睡眠のために体内時計を整えよう

体内時計は生物時計とも呼ばれ、日中は元気に活動して、夜はぐっすり眠れるように、自律神経や体温・血圧、ホルモンの分泌などをコントロールする仕組みです。この周期は1日よりも少し長く、光や睡眠、活動などの情報によって調整されています。そのため、日中に明るい光を浴びなかったり、夜間に明るい光を浴びたりしてしまうと体内時計が乱れてしまいます。体内時計が乱れると、日中の眠気が起きたりパフォーマンスが低下したりするだけでなく、不眠や高血圧、うつ病などのリスクが増加することが分かっています。

体内時計を乱さないためには規則正しい生活が大切ですが、シフトワークで働く方々にとっては容易ではありません。シフトワークで働く方々ができるだけ体内時計を乱さないためには、夜勤明けの過ごし方がポイントの1つです。夜勤明けの日中に夜勤でとれなかった睡眠をとるのではなく、夜のいつもの就寝時刻までなんとか起きていられるような仮眠をとるだけにとどめましょう。そして、明るい光をしっかり浴びて、活発に活動するようにしましょう。

●睡眠セミナーの様子

東洋羽毛工業では、医療機関・福祉施設に向けて睡眠セミナーをおこなっています。詳細はホームページにも掲載されていますので、関心のある方はご覧ください。

医療安全対策委員会

医療安全管理者交流会開催

AICHI NURSING ASSOCIATION

交流会Ⅰ 2023年7月3日(月) 参加者:78名　交流会Ⅱ 2023年10月30日(月) 参加者:53名

医療安全対策委員会は、今年度

『薬剤投与時のダブルチェックを考える』
～そのダブルチェックは本当に有効ですか～

をテーマに交流会Ⅰ・Ⅱを開催いたしました。

交流会Ⅰでは、医療安全対策委員が考えるダブルチェックの現状と課題をお伝えし、その後グループワークを通して自施設が抱える問題や取り組み課題を導きだし、自施設に戻り実践内容を行動に移して頂きました。交流会Ⅱでは、**京都大学病院 医療安全管理室 室長 松村由美先生**に『ダブルチェック再考：有効なダブルチェックを行うために』について講義していただき、後半は交流会Ⅰで共有した誤薬対策に関する自施設の実践状況を、グループ内で意見交換しました。その後、全体ディスカッションでは各グループ毎に発表してもらいました。

改善できた点

- ダブルチェックとシングルチェックの使い分けを行い患者誤認を**減少**した
- ダブルチェックを**シングルチェック**にできた
- 薬剤師に依頼し、一包化することでセットの時間が短縮されNsの業務整理ができ、**仕事**や**心**に余裕ができた

苦慮した点

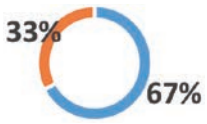
- スタッフ教育やスタッフの不安に対する対応
- 意識改革(特に管理者)

グループ毎への質疑や意見交換を通して今後の取り組みへつなげることができました。
最後に全体を通して、講師の松村先生から3つの名言を頂きました。

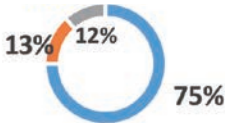
Ⅰ　上流・下流問題
Ⅱ　“ざる”は2枚重ねても“ざる”
Ⅲ　対象を絞り込む

交流会Ⅱ終了後のアンケートで、「自施設における次への課題を見いだすことができたか」「交流会の開催方法は良かったか」「(ダブルチェックを考える)のテーマが良かったか」等「そう思う」と回答した人が過半数以上あり高評価を得ました。今回、日常の業務で当たり前のように行っているダブルチェックを改めて考える機会となり、各施設の状況に合わせた確認方法を実施し患者安全に取り組んでいただけることを願っています。

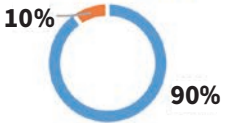
取り組みの共有により、自施設における次への課題を見いだすことができたか



交流会の開催方法等について2回にわたるシリーズ開催は良かったか



ダブルチェックを考えるのテーマが良かったか



医療安全対策委員会は医療安全の推進に向けて医療安全管理者の連携強化やサポートができるように共に支援をできる活動を進めて参りたいと思います。参加頂いた医療安全管理者の皆さま、講師の先生方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

医療安全対策委員　西　綾子

2024年度の入会・継続手続きが始まりました!!

2023年度会員の皆様は2024年度も自動継続になります

手続きの流れ

「看護協会から翌年度継続手続きに関する重要なお知らせ」は届いていますか？

いいえ →
- 住所・氏名・所属の変更はありましたか？
- 2023年度年会費のお支払いはお済みですか？

「キャリナース」で登録内容（会員情報・会費情報など）をご確認ください。

※ご不明な点は、QRコードよりお問い合わせください。

はい ↓

現在の登録内容をご確認ください。変更はありますか？

いいえ →

手続きは不要です。
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

はい ↓

変更の手続きをお願いします（WEBまたは書面で申請してください）

WEB

会員専用ページ
キャリナース

会員専用ページ「キャリナース」で申請

書面

同封の「会員情報変更届」に変更箇所を記入し、郵送で申請

県外へ転居する場合 さらに…
愛知県看護協会の個人会員として継続入会できます。

愛知県で継続

勤務先をご変更ください
- キャリナースで変更
  「◎勤務先なし」を選択してください
- 書面で変更
  施設名称に「個人」とご記入ください

他県へ移動

県移動の手続きをお願いします

2024年度 新規・再入会申込み受付中!

“WEB”でも“書面”でも
詳しくは右記QRコードまたは看護協会ホームページよりご確認ください

2024年度から年会費が変わります。
【年会費】15,000円
（10,000円：愛知県看護協会、5,000円：日本看護協会）

継続を希望しない場合は、「退会届」を愛知県看護協会までご提出ください。

問い合わせ先
愛知県看護協会　会員管理担当
☎ 052-871-0711
✉ kaiintouroku@aichi-kangokyokai.or.jp

読者プレゼント企画

GIFT CARD

新春お年玉企画 ドドーンと総額10万円!

特別賞　5名様 5,000円分
良いことあるで賞 25名様 2,500円分
読んでくれてありがとう賞 50名様 500円分
のQUOカードプレゼント!

スマートフォンやパソコンを使って、下記クイズについて、ご回答ください。ご応募いただいた方の中から抽選で95名様に、総額10万円分のQUOカードを進呈します。

問Ⅰ 愛知県看護協会 三浦会長の出身地は？
答 ❶静岡県　❷長野県　❸愛知県

問Ⅱ 愛知県看護協会 三浦会長が、看護師以外でなりたかった職業は？
答 ❶体育教師　❷英語教師　❸数学教師

問Ⅲ 良い睡眠のために整えると良いものは？
答 ❶体内時計　❷腹時計　❸鳩時計

応募方法 スマートフォン・パソコンにて　愛知県看護協会 検索

右記のURL又はQRコードから回答してください。https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/726/

当企画で取得した個人情報は、取得目的の範囲内で活用し、これらの目的以外で利用する場合には、事前に確認または同意を求めます。

※回答期限は、2024年2月20日（必着）です。　※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

QUOカード提供：株式会社ジーピーセンター様他

会員特典

期間限定特典もあるので、お見逃しなく!!

要Check

ご意見・ご要望も受け付けています

旅行・ホテル・テーマパークの割引やスポーツクラブ、ショッピングモールでの買い物優待サービスなどお得な特典が満載です！
ぜひ、ご利用ください。

★（新着情報）住宅販売、リフォームetc…

会員特典

愛知県看護協会の皆様へ

フリーコール 0120-322-755
［受付時間］9:30～17:30（月～土）※日・祝休み

1分で出来る! Webでのお申し込みはこちらから
KK00059560
プライバシーマーク 10520045

JCM 株式会社JCM 車買取サービス
■当社は皆様の愛車をオークション・業販などを通じて業界に供給する会社です。
名古屋支店　〒460-0003　名古屋市中区錦1-8-11DPスクエア錦5F｜札幌支店／仙台支店／さいたま支店／東京本社／名古屋支店／大阪支店／広島支店／福岡支店／四国エリアオフィス

教育センターからのお知らせ

第39回愛知県看護学会を開催しました

今年度「第39回愛知県看護学会」は、「看護の新しい取り組み～看護の実践を社会にいかに伝えるか～」をテーマに4年ぶりに愛知県産業労働センター（ウインクあいち）で対面での開催となり、414名（市民参加58名を含む）の方々にご参加いただきました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。当日は、口演発表20題、示説発表8題、特別講演、シンポジウム、交流セッション、学会発表支援講座、特別セミナー、市民公開講座、研究倫理相談会、企業展示等を行いました。

特別公演では東京医科歯科大学病院 クオリティ・マネジメント・センターの森脇睦子先生より「データ分析に基づく看護サービスの質改善」をテーマにご講演いただきました。

また、今年度は新たな企画として市民の方々にご参加いただけるよう身近な話題でもある認知症に関する特別セミナー「アザラシ型セラピーロボットを使った認知症のケア」、市民公開講座「認知症を予防してますか？～家族が認知症になったら～」を開催し、参加された方からは「アザラシ型ロボットが認知症の方へ与える影響・効果がよく分かった」、「認知症の方への接し方を学び直すきっかけになった」、「学会に来てあんなに笑うとは思いませんでした。聞きやすく勉強になりました」などのご意見をいただきました。

看護学生の企画も新たに行いました。「看護学生による実践・研究報告」に4校から計10題の発表があり、「他校の発表も勉強になった」、「新鮮な体験が聞けた」などのご意見をいただきました。

次年度は、令和6年12月17日（火）に、ウインクあいちで開催予定です。次回は40回目の節目の開催となりますので、また新たな企画を検討しております。

進化し続ける看護の現場において、皆さんの目指す看護、求められる看護、看護実践、日頃の疑問などを共有できる学会となるよう努めていきたいと考えております。

是非、学会での発表、ご参加いただけますようお待ちしております。

▶会長あいさつ

▶かんごちゃん登場

▶口演

▶示説

訪問看護総合支援センター

地域・在宅看護実習指導者研修開催！

　看護基礎教育カリキュラム改正に伴い、「地域・在宅看護論」は「基礎看護学」の次に位置付けられ、重要性を増しています。
　そのなかで本会は、「地域・在宅看護実習指導者養成研修」を委託事業として始めました。この研修の特徴は、実習指導にあたる現場の訪問看護師と基礎教育を担当する教員が共に学び、話し合う機会をもつことにあります。研修は、「リフレクションの方法を学ぶ」、「学生観、指導観、教材観の視点を明確にしたうえで紙面上の利用者の指導案を協働で作成する」等を含む4日間です。2月には実践例を発表する機会もあり、30名を超える方が受講を終えることになります。訪問看護実習がより充実した内容になることに期待が高まります。

第54回日本看護学会学術集会「都道府県看護協会公募企画」において発表を行いました。

●大阪会場（大阪国際会議場）9月30日（土）「看多機推進及び相談事業の委託事業の取組みと今後の展望」

座長：三浦 昌子会長
訪問看護総合支援センター 青山 礼子より、「委託事業の報告」、看多機すみれの家 管理者 森田 貞子氏より「看多機の現状と課題」、訪看メロディ東海 管理者 山田 佳美氏より「看多機の開設に向けて」の講演を行った。

●会場から、看多機開設の困難さについて意見があり、看多機開設には、介護保険事業計画が要となり、そのためにも、行政との連携を図ることの重要性が再確認できました。

●神奈川会場（パシフィコ横浜）11月9日（木）「訪問看護第三者評価制度の創設」

座長：結城 房子理事
前 訪問看護総合支援センター長 野中 時代氏が「制度の創設」、訪看笑福 管理者 山端 二三子氏がサーベイヤーとして、稲沢市民病院訪看あしたば所長 志舩 幸恵氏が受審事業所として第三者評価の実際について講演を行った。

●病院機能評価のように、訪問看護サービスを第三者から評価を受ける仕組みに、他県の訪問看護関係団体の方からも関心が寄せられました。

訪問看護事業所リレー　訪問看護事業所をリレー形式でご紹介します

「災害時の支援」地域とつながる訪問看護！　訪問看護ステーションよつば　管理者　長江雅子

　在宅療養では、人工呼吸器や吸引機、意思伝達の機材、介護ベッド等ご利用者様の生活を医療・介護機器が支えています。先日、そのようなお宅で「災害時知っておいてほしいこと地域のみなさんと考えましょう」というテーマで、医療・介護従事者に加え、役所の方や民生委員さん等にお話をしました。ご利用者様が、何のためにどのような機械を使い、停電時にはどの様にすればよいのか、具体的な説明やアンビュー使用の実際を見てもらいました。災害時など家族だけ（自助）では乗り切ることが難しく、共助・公助に加え、身近な人同士の支援が必要（互助）なことも地域の方々にお話をしました。今回、参加の方々の疑問や意見を伺い、また私自身も訪問看護師としての気づきや多くの学びをさせて頂きました。このような地域での活動を継続的に行うことが災害時への備えともなり、様々な人が安心して暮らしていける在宅療養を支える訪問看護の使命とも思いました。

11月18日の読売新聞にも掲載されました!!

お知らせ

●10月14日（土）看多機シンポジウム開催、80名の参加がありました。
●10月21日（土）愛知県訪問看護ステーション協議会合同「地域BCP学習会」開催、49名の参加がありました。
●地域・在宅看護実習指導者研修　次回2月は課題発表会　●4月からの相談件数109件

相談窓口のQRコード

選挙公報

○令和7年度　日本看護協会代議員及び予備代議員の立候補受付

令和6年度の愛知県看護協会通常総会において、令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を行います。(定款細則13条)

定款細則17条により、立候補の受付を行います。立候補をされる正会員は、所定の手続きにしたがって届け出を行ってください。

立候補の受付 締切り：令和6年4月18日(必着)

ホームページに様式を掲載しております。

なお、代議員及び予備代議員の数は会員数によって割り振られ、各々41名を予定しております。

(選挙管理委員長　小林　佐知子)

理事会報告

●令和5年度　第4回　理事会　令和5年10月23日(月)

協議事項

1. 訪問看護認定看護師教育課程について
2. 地区支部活動における経費について

協議事項1～2は、承認された。

報告事項

1. 令和5年度重点事業中間報告
2. 令和5年度四半期報告(7～9月)
3. 令和5年度地区別職能委員長会報告(10月13日)

●令和5年度　第5回　理事会　令和5年12月18日(月)

協議事項

1. 令和6年度重点事業(案)について
2. 地域包括ケア推進委員会の廃止について
3. 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について

協議事項1～3は、承認された。

令和５年度三職能集会を開催します

参加費無料です。多くの皆さまにご参加くださいますようご案内いたします。

テーマ：テクノロジーと看護の力を融合した未来の看護

日時　令和6年2月20日(火)　10時～15時30分(受付9時30分～)

場所　愛知県産業労働センター　ウインクあいち
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

申込　右記QRコードより詳細をご確認の上、お申込みください。
(〆切：令和6年2月13日)

https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/147/detail=1/b_id=2072/r_id=5030

編集後記

愛知県看護協会だよりVol.154は、地区支部活動の「まちの保健室」「ＡＣＰ推進」「地域災害応援ナース実働訓練」「タスク・シフト/シェア」とホットな活動やお二人の会員の声、読者の皆様の声より愛知県看護協会長のインタビューを掲載し、多様な看護の力をお届けできる内容となりました。その他、看護に役立つ情報が盛りだくさんです。さまざまな出来事に翻弄される毎日ですが、協会だよりが皆様の心を温め、看護の励みとなれば幸いです。2024年は新会館が創り上げられていく様子をお伝えし心弾む内容を編んで参ります。

この場をお借りしまして、令和6年能登半島地震により被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申しあげますとともに被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

広報委員　　加藤　衣津美

表紙の写真について

表紙の写真は、名古屋市「別小江神社」の手水舎。行事や季節に合わせたカラフルでにぎやかな装飾があり、訪れる人を楽しませてくれます。その昔は、織田、豊臣、徳川代々の厚い信仰を受けていたそうです。"映える"スポットとしてだけでなく、多くの方に元気と運気をもたらしてくれる場所なんでしょうね。

会員数 40,215人(令和5年11月30日現在)(保健師556人/助産師1,625人/看護師37,415人/准看護師619人)

発行：公益社団法人愛知県看護協会　名古屋市昭和区円上町26番18号　TEL:052-871-0711　FAX:052-871-0757　E-mail:aikan@aioros.ocn.ne.jp　発行責任者：三浦 昌子
発行日／令和6年1月20日